学習内容報告書 フォーマット
（参考校務＞3_16 海洋教育パイオニアスクール＞R3＞提出物＞学習内容報告書）

学校名	唐津市立東唐津小学校
授業者	岩部　裕之

1.　単元計画
実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

せかいで ひとつ わたしの おもちゃ

1-2.　学年

２年生

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科、図工科、道徳科、学級活動

1-4.　単元の概要

　本単元は、学習指導要領内容（６）「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を行う」に基づいて設定されている。
　子どもたちは、第１学年の「見つけたあきであそんでみよう」の学習で季節のものを使った作品作りを体験し、自分でものをつくる楽しさを実感している。本単元では、「SDGｓ」についての考えを持ちながら、東の浜で必要な材料を集めたり、動きを生み出している動力を意識したりするなど、子供たちが計画的・主体的に取り組むことを目指したい。また、作ったおもちゃで繰り返し遊ぶ活動を通して、化学的な目を持っておもちゃを改良したり、友達と協力して遊ぶルールを決めたりするなど、豊かな想像力、実行力を育てていきたい。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

　本単元のねらいは、身近にあるものを使って、動くおもちゃを試行錯誤してつくり、友だちと　競争した工夫を教え合ったりしながら、よりよく動くように改良することを通して、動くおもちゃの面白さや不思議さを実感するとともに、遊び方を工夫して，みんなで遊びを楽しむことができる児童を育成することである。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

（１）動くおもちゃについて、動きの面白さや不思議さ、遊びに使うものを作る面白さ、みんなで遊ぶ面白さに気づく力【知識・技術】 （２）身近にあるもの（東の浜で集めた材料）を利用したおもちゃ遊び自体を、試行錯誤を繰り返しながら工夫する力【思考・判断・表現】 （３）おもちゃランドに向けて、友達との繋がりを大切にし、より良い遊びや遊び方を創り出そうとする力【態】

1-7.　単元の展開（全１２時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	○動くおもちゃを考えよう	○東の浜に材料を集めに行く。 ○集めたものの特徴を生かして、並べたり転がしたりしながら遊ぶ。 ○動くおもちゃを考える。
3	○自分でおもちゃを作ってみよう	○自分のおもちゃを作る ○おもちゃの動きを試したり、友達と一緒に遊んだりする。 ○おもちゃを改良する。
3	○あそび方やルールをくふうしよう	○友達とおもちゃを見せ合ったり、競争したり、一緒に遊んだりする。 ○みんなで楽しく遊ぶために、遊び方やルールを工夫する。
4	○みんなで楽しくあそぼう	○おもちゃランドの計画・準備をする。 ○おもちゃランドを開催する。 （1 年生を招待して一緒に遊ぶ） ○今日の良かったことを伝え合う。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元 | １２ | 時間中の | ５ | 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

　自分が作った動くおもちゃをもっとよく動くようにするために、動かし方を考えたり、用いる材料に変化を加えたりして、おもちゃを工夫して作り遊ぶことができる。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
◇前時までを振り返る。	○前時までの学習を振り返り。もっとよく動くおもちゃを作りたいという意欲を高めるようにする。 ○これまでのおもちゃ作り工夫したことや、困っていることを想起させる。
もっとよく動くように工夫しよう	
◇おもちゃをもっとよく動くようにする方法を考え伝え合う。	○「もっとよく動く」とは、速く・遠く・高くなどというように、視点を確認する。 ○友だちの考えを聞くことで、おもちゃをよりよく動くようにするためにはいろいろな方法があることに気づくことができるようにする。 ○自分の考えが友だちに分かりやすく伝わるように、実物を示しながら確認する。
◇考えを伝えあったことをもとにして、自分のおもちゃつくりや遊び方を見直す。	○「○○さんのやりかたもいいかも」「もっとこうすればいいよ」という助言をして見直しの意欲を高めていく。
◇本時を振り返る。	○振り返りを共有することで、友だちの考えを聞きながら作る楽しさを味わうとともに、いろいろなおもちゃで遊びたいという願いが高まるようにする。

3.　今回の活動の自己評価

・生活科だけでなく、ほかの教科とつなげながら取り組みを行ったので、それぞれの教科で学んだことを活用し、主体的に学習に取り組む態度を養うことができた。
・東の浜や虹ノ松原に行っての活動回数が少なかったので、身近な自然に関する感想や SDGｓについての感想が少なく、考えを深めることができなかった。

4.　今後の課題

・外部の方々との連携を深める。
・SDGｓとの関連を見直す。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・特になし。

※実施した単元ごとに作成してください。
※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。
※基本レイアウト
　フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20㎜、左右端 16㎜
※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。
　例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校１
※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。